



ふくざわゆきち

福沢諭吉は、どんな人だったの

日本の民主化・近代化に努力した、明治時代第一
の思想家・教育者だよ

福沢諭吉は1835年に、^{ぶぜんのかくになかつはん}豊前国中津藩（大分県中津市）の下級武士の次男として、大阪で生まれました。2年後に父が病死し、一家6人は中津に帰って、貧しい生活を送りました。

^{らんがく}蘭学・英語を学び、アメリカやヨーロッパに行った

13、4歳^{さい}のころから学問を始め、1854年から長崎で蘭学を学び、翌年、大阪で緒方洪庵^{おがたこうあん}の適塾^{てきじゅく}に入門しました。1858年には、江戸の藩のやしきの中で、蘭学の塾^{じゅく}の先生になりました。翌年から英語を勉強をし、つてを頼^{たよ}って咸臨丸^{かんりんまる}に乗ることに成功してアメリカにわたり、その後ヨーロッパにも行きました。1866年、外国で見聞きしたことなどをもとに、「西洋事情」を書き、啓蒙思想家^{けいもうしやうか}として名を上げました。

^{けいおうぎじゅく}慶応義塾を開き、「学問のすゝめ」などを書いた

1868年、幕府^{ばくふ}がたおれた混乱^{こんらん}の中で、慶応義塾（のちの慶応義塾大学）を開きました。1872年に出版した「学問のすゝめ」は、340万部というベストセラーになり、自由・平等・自主の精神を日本中に広めて、それまで政治に無関心だった民衆^{みんしゅ}を、目覚めさせました。また、西洋の近代科学を取り入れた実学（習った技術・知識が、そのままくらしに役立つ学問）を学ぶことをすすめました。1875年に出した「文明論之概略^{ぶんめいろんのかいりやく}」では、西洋文明の精神を取り入れて、民衆の精神を発達させることが、日本の独立の根本であることを説きました。1882年には、「時事新報^{じじしんぼう}」という新聞^{しんぶん}を創刊し、政府を批判する一方で、日清戦争による朝鮮侵略^{せんしんりやく}を応援^{おうえん}しました。晩年は、男女平等、女性の地位の向上を説き、1901年に亡くなりました。

ことばの意味 啓蒙思想 古い考えを捨て、教育・法律・政治・経済などの近代化を目指す思想。